

# 新成人代表あいさつ

## 周囲の支えで今がある 感謝の気持ちでいっぱい

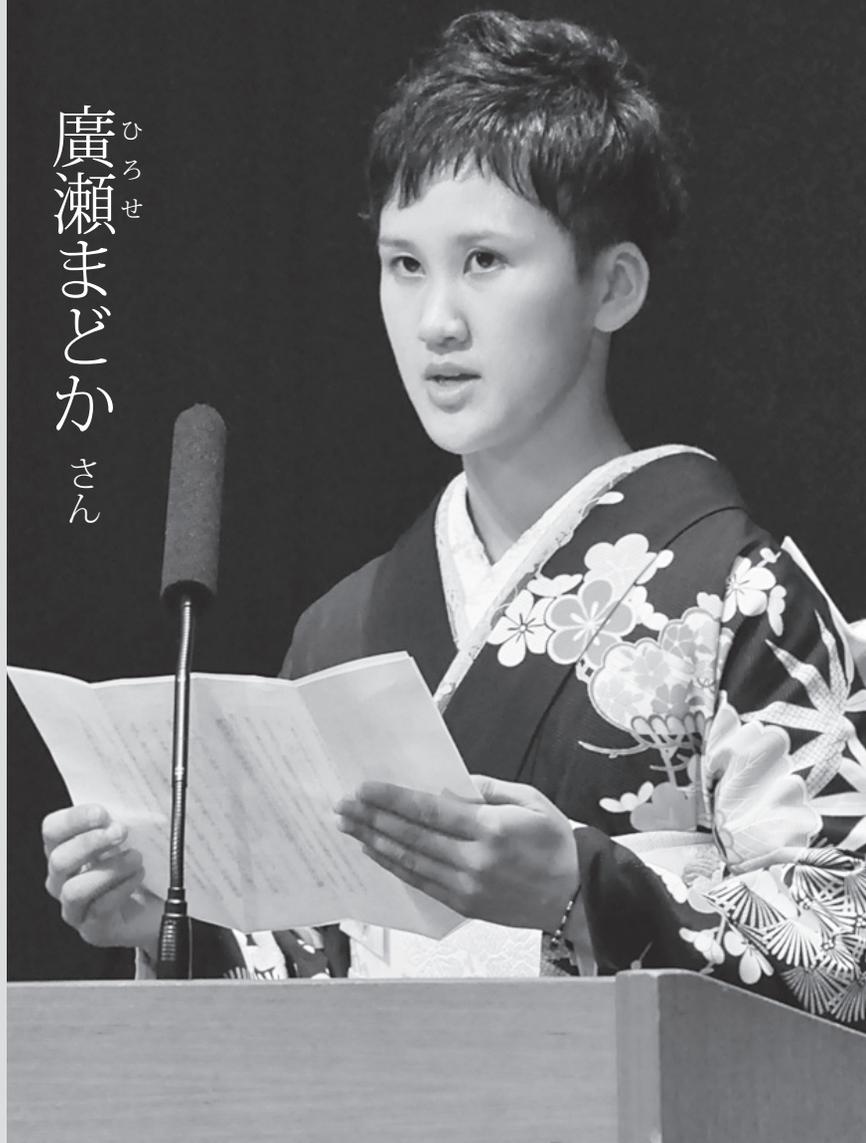
景山町長をはじめ、来賓の方々に、このような盛大な成人式を催していただき、お礼申し上げます。

さて、日野町は平成12年の鳥取県西部地震で大きな被害に見舞われました。そのころ、私は小学2年生で米子に住んでいましたが、黒坂にいる祖父母が心配で、家族で様子を見に行ったところ、家にはブルーシートが敷かれ、食器はほとんど割れていました。

そんな中、祖父母が救助支援に来ていた自衛隊の話をしてくれました。本当に感謝している様子で、2人は今でもその話をするところがあります。その話が心に残っていて、高校の進路を決めるとき、自衛官になることを決意しました。

しかし、自衛官合格への道は険しく、ただ毎日がむしやうに勉強していました。いつも支え、応援してくださった

## ひろせ 廣瀬まどかさん



## 平成11年広報4月号で紹介 小学1年生のころの新成人！



## だれだか分かるかな？

のが学校の先生、友人、そして家族でした。今、自衛官として仕事ができているのも周囲の人たちの支えがあったからと感じています。心から感謝の気持ちでいっぱいです。

20年の歳月がたつのは本当に早いもので、日野中学校を卒業したのもついこの間のようです。覚えている人もいると思います。が、中学校最後の年に未来の自分に宛てた手紙を書きました。その手紙に目を通してみてはいかががでしょう。過去の自分と今の自分

を比較し、どれだけ成長したのかを考えてみるのも良いと思います。

私は現在、兵庫県伊丹市にある陸上自衛隊千僧駐屯地に勤務しています。所属部隊は後方支援にあたり、災害派遣で活動しています。

これからは成人として、義務と責任が課せられます。また、自衛官として日々の職務に対し、常に向上心を持ち、任務達成にあたり、自我を錬成していきます。

夢は手に入る。自分を信じ、勇気を持つんだ

演題.. 「よそ者・移住する」  
 講師.. 高田昭徳さん・田中正之さん・廣瀬俊介さん

記念公演は『よそ者・移住する』と題して、町にイターンした高田昭徳さん（下黒坂）、田中正之さん（舟場）、廣瀬俊介さん（野田）の3人が新成人に向け、エールを贈りました。

高田さんは平成22年から米作りを中心に就農しておられます。田中さんは青年海外協

力隊として活躍後、町で就農を目指し、技能や経営を学んでおられます。廣瀬さんは今年から鳥取県農業担い手育成機構研修生として、シイタケ栽培の経験を積み、町で独立就農を目指しておられます。

3人は「人の縁やつながりがあってイターンし、人の温かさなどに触れ、受け入れてもらえたため、この町が好きになった」と話しました。また新成人と意見交換し、どうしたら日野町が元気になるのかを会場全体で考えました。

さらに夢や目標について話し「夢をものにするためには、実力がないとできない。苦勞もするが求めたものは手に入るの、勇気を持って取り組んでほしい」とエールを贈りました。

現在、夢をつかむために信念を持って、この日野町で活躍する3人の話に、会場は和やかな雰囲気包まれながら新成人には『勇気』が生まれようでした。



左から、高田さん、田中さん、廣瀬さん

懐かしいメニューがズラリ！  
給食を食べながらの懇親会

式典後、山村開発センターを会場に、懇親会が行われました。懐かしい学校給食を囲んでにぎやかか話弾みしました。

この日のメニューは、新成人の希望で、メインはサバの味噌煮。給食センターの職員によると、作り方や味付けは当時と変わらないとのこと。

会場からは「サバの味噌煮だあー、やったあー」と歓声があがりました。久しぶりに食べる給食の味は格別のように感じました。



久しぶりに食べる給食は最高！

ひのちよう  
 平成11年 No.543 / 4月号  
 発行・日野町役場 〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨101 ☎(0859)72-0332・FAX72-1484 ■編集・企画張興謀 ■印刷・富士印刷有限会社

根雨小学校  
 25人  
 男の子15人  
 女の子10人

みんな新1年生  
 町内三小学校に入学した1年生です。  
 今年入学したのは、平成4年4月2日から平成5年4月1日まで生まれた子どもたちです。  
 根雨小学校に25人、黒坂小学校に8人、普福小学校に2人、みんなで35人です。  
 みんな元気に学校に通っています。